

# 船橋市『地域公共交通網形成計画』について

## 基礎調査の経過報告

八千代エンジニアリング（株）



### 本日のご説明は・・・

#### ● 基礎調査を通じて見出される現状・問題等

- ・船橋市の地域・公共交通の概況について
- ・関係者へのアンケート・ヒアリング、  
現地状況(駅ターミナル等)について
- ・市民へのアンケート（速報）について

#### ● 今後に向けた課題・方向性等のまとめ (基礎調査を通じて考えられること)



- **基礎調査を通じて見出される  
現状・問題等**

## **船橋市の地域・公共交通の概況**

**(地域の概況について)**

## ■これまでの基礎調査より

### 現状と問題等について（まとめ）

#### ■船橋市の地域の概況は…

- **近い将来、総人口は減少に転じるが、高齢者は増加。**  
⇒ 人口の総数が減るなか、公共交通の役割は、ますます重要に。
- **人口は、西・南・東部に集中し、北・中部は広く分布。**  
(将来さらに進む)
- **高齢者だけの世帯や一人暮らしも、広く分布。**  
⇒ 広く点在するため、鉄道や大型バス等だけでの対応は難しい。
- **外出先は、通勤等は東京方面、買物等は市内が多い。**
- **市外へは主に鉄道。市内では、クルマ、自転車、鉄道が利用され、バスの利用割合は小さい。**
- **70歳以上でも1/3以上が運転免許保有。**  
⇒ 過度なクルマ利用の見直しも必要。



5

## ■これまでの基礎調査より

- **大規模SC、集客スポット等へは、市外からの来訪客も多い。**
- **市外からの手段は、電車またはクルマが大半。**



6

# 船橋市の地域・公共交通の概況

## (市内の公共交通について)

7

### ■これまでの基礎調査より

#### ■公共交通の現状は…

- **鉄道・路線バス・タクシー**等があり、**多数の事業者**が運行。
- 各方面を運行しているが、市全域の**細部**までは**カバー**しきれない。
- **利用客、運行本数**とも、おおむね**主要駅に集中**。  
**ラッシュ時**には、**車内が混雑**（鉄道、バスとも）
- **鉄道**の利用客は**微増**傾向。  
**路線バス**の利用客は**横ばい**か**微減**傾向



8



# 船橋市の地域・公共交通の概況

## (船橋市の上位・関連計画について)

9

### ■これまでの基礎調査より

#### ■本市のまちづくりの考え方は…

- 公共交通や人の移動に関する**基本的な考え方は**、  
「公共交通の確保・活性化」、「過度なクルマ依存の見直し」。  
(最上位計画である**総合計画**の考え方・方針より)

- それを受け、**各分野**の視点・計画等で、  
総じて求められることは、



- ・公共交通の**利便性**向上、将来にわたる**持続**
- ・**拠点を結ぶネットワーク**、**不便地区の移動支援**
- ・**歩く+公共交通**による外出の促進
- ・中心部やベイエリアの  
**観光、回遊性**の向上への寄与



10

# 「船橋市地域公共交通総合連携計画」 の経過について

11

## ■これまでの基礎調査より

### 《「船橋市地域公共交通総合連携計画」の経過について》

- **公共交通不便地区**の解消事業（バス路線）により、**17地区中3地区解消**。  
乗合タクシー(デマンド)型の実証実験を行ったが、利用者数が目標を下回ったため本格導入なし。
- **バスガイドマップ**を**作成・配布**したが、ガイドマップふなばしと重複したため継続なし。その他のMM施策は未実施。
- **バスロケ、バス接近情報システム**を一部路線に導入。

12

# 関係者へのアンケート・ヒアリング等より

## ・公共交通の運営等の状況

13

### ■これまでの基礎調査より

#### 運行事業者・関係者へのアンケート・ヒアリング等より

#### ■運行事業者の現状・問題は…



- バス、タクシーは、**乗務員不足が深刻**  
⇒ 持続的運営の大きな問題
- **収支面で厳しい路線**がある。（**減便**を検討することも）
- **今後、人口減少・高齢化により、利用客減少の危惧**がある。
- バスの運行面で**最大の問題は、渋滞による遅延**。  
⇒ 利用客のクレーム・バス離れ、乗務員の負荷
- バス運行面では、その他、**長距離の路線、狭い道路の路線など効率のよくない路線**がある。
- **多くのバス会社、系統があり、高齢者、来訪者にわかりにくい。**  
(特に**主要ターミナル**)



14

## ■これまでの基礎調査より

- 鉄道・バスのラッシュ時等に関する改善（運行、車両、空調）等の要望が多い。



- 鉄道へは、その他、輸送障害時の対応、バリアフリー、駅前、鉄道どうしの乗り継ぎ等への要望がある。



- タクシーへは、乗車環境のほか、予約してもなかなか来ないとの声もある。（営業所の多くは市の南寄り）



- 公共交通全体に関するPR、意識を変える啓発等が必要。

- 現状では、バス・鉄道・タクシーとも、お客様サービスや取り組みの多くは各社個別。

- ・乗務員確保の活動、会社間のバス路線の調整
- ・最終列車遅延時のバスの連携
- ・バス路線・時刻表の情報、案内所等
- ・割引きっぷ、外国人対応、その他PR・企画 等

15

## 関係者へのアンケート・ヒアリング等より

- ・観光客・集客施設等の状況

16



#### ■集客施設・観光関係者等の視点からは…

- 船橋の観光は定着していないが、**大規模な商業施設や公園等**に、周辺他市からの来訪客がある。
- 市外からは、**鉄道、マイカー**での来訪が多い。
- **マイカー**が多いことにより、**駐車場不足、周辺混雑**等の問題。
- 現状は、市内の**1箇所のみ**を訪れる来訪客が多い。
- 来訪客は、**駅の混雑、駅等のわかりにくさ、渋滞**等に不満。
- 観光振興に向け、来訪者に市内を**回遊**させたい。  
また、**主要駅や周辺の案内**を充実させたい。  
(公共交通 + 観光の企画、案内の充実等)



## 主要駅・ターミナル等の状況

(現地の視察より)

■ 駅・ターミナルの現状・問題は…

- 主要な駅には、**ターミナル、待ち時間を過ごす店舗等**があり、**まちの賑わい**もある。（ただし**一部、十分ではない**点もある）
- **不慣れな高齢者、来訪客等にとって、わかりにくい（不案内な）面。**  
（例）
  - ・乗るべきバスは**駅のどちら出口**のほうか
  - ・**何番のバス乗り場**なのか
  - ・バスの**乗り場がどこ**にあるか
  - ・**どのバス会社**なのか
  - ・別の会社の**乗り継ぐ駅がどこ**にあるか 等



## 市民へのアンケートについて（速報）

#### ■市民の実態・意識等は…

- 主な外出は、**通勤・通学、買物、通院**が大半。
- 主な交通手段は、**鉄道、クルマ**が突出。バス、タクシーは少数。  
駅への交通手段は、**徒歩**が突出。バスも一定の利用。  
**鉄道**は、**趣味・遊び**での利用も多い。
- （鉄道は、駅が近い・早く行ける・時間に正確との利用理由が多いのに対し、）バスは、**バス停が近い**ため利用する人が突出。  
**クルマが便利**との理由で、**鉄道・バス**を利用しない人が多い。



21

- 「**通院**」について、**不満、将来が不安**な市民が比較的多い。
- 一方、**最寄りバス**について、「**利用しないのでよくわからない**」という市民が多い。
- 「**現状を維持すべき**」「**公共交通サービスを向上すべき**」「**公共交通確保の取り組みが必要、協力する**」との意向の市民が多い。
- 改善希望として「**わかりやすさ**」が特に多く、その他で「**待合施設**」「**遅延**」「**運行本数**」「**乗り継ぎ**」への改善希望が多い。
- ただし、改善後も「**できるかぎり利用**」「**あまり利用しない**」という意向。



22

## ● 今後に向けた課題・方向性等のまとめ

(基礎調査を通じ、今後必要と考えられる  
取り組み・概ねの方向性のまとめ)

23

### ■ 今後に向けた課題・方向性等のまとめ

基礎調査を通じて、今後必要と考えられる取り組み・概ねの方向性について。

(…今後、補完的な調査や、意見交換・議論を行いながら、熟度を高めていきます。)

まちづくりの方針を受けた、船橋の公共交通の基本的な考え方は…

- まちづくり、過度なクルマ利用からの脱却に寄与するとともに、将来まで持続し、多くの人に利用される公共交通をめざす。



24

## ■ 今後に向けた課題・方向性等のまとめ

- まちづくり、過度なクルマ利用からの脱却に寄与するとともに、将来まで持続し、多くの人に利用される公共交通をめざす。



### その課題は…

- 1 将来にわたる公共交通の運営・運行
- 2 公共交通不便地域等への移動支援
- 3 市民等の利便性向上と利用促進
- 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与



### そのために必要なことは…

25

## ■ 今後に向けた課題・方向性等のまとめ

### 必要なこと（考えられる取り組みの方向性・例）は…

#### ■ 1 将来にわたる公共交通の運営・運行



考えられる  
取り組み  
の方向性（例）

乗務員不足につながる要素を改善する

収支が厳しい状況を軽減する

例えば…

- ・効率のよくない路線による負荷を減らすことを考える
- ・遅延による負荷を減らす方法を考える
- ・利用客の増加を図る
- ・路線の継続・見直しを判断する仕組みを考える 等

公共交通の各事業者や関係者が連携する

例えば…

- ・各事業者が連携・協力する仕組みをつくる 等

26



### ■ 2 公共交通不便地域等への移動支援



考えられる  
取り組み  
の方向性（例）

#### 不便地区に対し、公共交通サービスを提供する

例えば…

- ・バス等によって移動を支援することを考える
- ・人口が少なく広く分布する地区の方策を考える
- ・大型車の運行が困難な地区の方策を考える 等

### ■ 3 市民等の利便性向上と利用促進



考えられる  
取り組み  
の方向性（例）

#### 遅延による利用客のバス離れを防ぐ

例えば…

- ・渋滞による“遅延”自体を緩和できるかどうかを考える
- ・遅延を待つ苦痛を緩和する、待ち時間を充実することでフォローする 等

#### わかりにくさによる抵抗感を軽減する

例えば…

- ・“わかりにくい事象”自体を改善できるかどうかを考える
- ・情報・案内でフォローする（若年向け、高齢者向け）等

#### 公共交通のサービスを充実する

#### 市民等のクルマ依存（意識・ライフスタイル）を 少しずつ変える

例えば…

- ・各事業者や関係者が連携した、サービス・企画・取り組みを考える 等

## ■ 4 集客、回遊性向上など、まちづくりへの寄与



考えられる  
取り組み  
の方向性（例）

回遊性を向上する交通サービスを提供する

来訪客へのPR・案内を充実する

例えば…

- ・回遊する公共手段を提供する
- ・回遊するときの複数の交通手段を使いやすくする
- ・公共交通や観光・集客施設が連携したPR・企画を考える
- ・来訪者への総合的な案内を行う 等

29



# ありがとうございました。

30